

2022年度
星槎道都大学
授業計画（シラバス）



目 次

6211201	キャリア支援演習 (M) (資格取得・コンクール等支援)	河野 善文 通年	・・・	1
6211202	キャリア支援演習 (S) (資格取得・コンクール等支援)	西崎 毅 通年	・・・	3
6211203	キャリア支援演習 (D) (資格取得・コンクール等支援)	林 春生 通年	・・・	5
6211204	キャリア支援演習 (A) (資格取得・コンクール等支援)	伊藤 裕康 通年	・・・	7
6212201	キャリア支援演習 (M) (就活等支援)	石山 玄幸 通年	・・・	9
6212202	キャリア支援演習 (S) (就活等支援)	尾西 則昭 通年	・・・	11
6212203	キャリア支援演習 (D) (就活等支援)	三上 いずみ 通年	・・・	13
6212204	キャリア支援演習 (A) (就活等支援)	長森 正 通年	・・・	15
6213101	キャリア支援演習 (M) (その他支援)	河野 善文 通年	・・・	17
6213102	キャリア支援演習 (S) (その他支援)	西崎 毅 通年	・・・	19
6213103	キャリア支援演習 (D) (その他支援)	林 春生 通年	・・・	21
6213104	キャリア支援演習 (A) (その他支援)	伊藤 裕康 通年	・・・	23
7166000	精神保健福祉援助実習指導	大島 康雄 通年	・・・	25
7168000	精神保健福祉援助実習指導	大島 康雄 通年	・・・	27
7148001	特別支援教育実習 (事前指導) (3年)	荒木 広式 通年	・・・	29
7148002	特別支援教育実習 (事前指導) (4年)	荒木 広式 通年	・・・	31
9140001	学校インターシップ (学校体験活動) (3年)	堀川 厚志 通年	・・・	33
9140002	学校インターシップ (学校体験活動) (4年)	堀川 厚志 通年	・・・	35
7141000	保育実習指導	吉江 幸子 通年	・・・	37
7181000	保育実習指導	吉江 幸子 通年	・・・	39
7183000	保育実習指導	湯浅 頼佳 通年	・・・	41
9130001	教育実習 (事前・事後指導) 3年	渡部 齋 通年	・・・	43
9130002	教育実習 (事前・事後指導) 4年	渡部 齋 通年	・・・	45

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (M) (科目ナンバリング: SOE082055)				
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー					

概要

履修目標

--

授業の位置づけ

--

到達目標

--

授業全体の内容と概要

--

授業の方法

--

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

--

修学サポート(合理的配慮)

--

資格指定科目

--

評価方法・基準

評価前提条件

--

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (M) (科目ナンバリング: SOE082055)				
授業担当者(所属・職名)			研究室等所在		
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (S) (科目ナンバリング: SOE082055)				
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー					

概要

履修目標

--

授業の位置づけ

--

到達目標

--

授業全体の内容と概要

--

授業の方法

--

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

--

修学サポート(合理的配慮)

--

資格指定科目

--

評価方法・基準

評価前提条件

--

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (S) (科目ナンバリング: SOE082055)				
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバリング: SOE082055)				
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー					

概要

履修目標

--

授業の位置づけ

--

到達目標

--

授業全体の内容と概要

--

授業の方法

--

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	P B L
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

--

修学サポート(合理的配慮)

--

資格指定科目

--

評価方法・基準

評価前提条件

--

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバリング: SOE082055)				
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (A) (科目ナンバリング: SOE082055)				
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			
オフィスアワー					

概要

履修目標					
授業の位置づけ					
到達目標					
授業全体の内容と概要					
授業の方法					
アクティブラーニングの実施方法	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	
	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	
	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)	
履修上の注意事項					

修学サポート(合理的配慮)	
資格指定科目	

評価方法・基準

評価前提条件						
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (A) (科目ナンバリング: SOE082055)				
授業担当者(所属・職名)			研究室等所在		
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (M) (科目ナンバリング: SOE082056)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員	研究室等所在	各研究室		
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャリア支援委員)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標

学生が就職活動準備を円滑に進めるためには自己分析と自分の特長を表現する力が大切である。さらに業界や企業を知らなければ職業選択の幅を広げることができない。本授業で自己分析や企業研究の進め方、筆記試験対策など、就職活動に必要な準備を行う。

授業の位置づけ

経営学科のDP(1)、(2)に対応する。

到達目標

自己分析を通しての自己成長及び自分のやりたい仕事と希望する就職先を具体的に列挙でき、履歴書・エントリーシート、面接試験、筆記試験等の対策を円滑に進めることができる。

授業全体の内容と概要

就職活動を始めにあたり、具体的に何をどう準備すればよいのか、就職活動の流れを理解するとともに、計画的に準備するのに必要な自己分析や業界研究、企業研究、面接試験対策、筆記試験対策、履歴書・エントリーシートの書き方を学ぶ。

授業の方法

授業はキャリア支援センター員または外部講師により行われる。パワーポイントおよび配布資料を活用し、講義だけでなく演習やグループワークも行う。また、パソコン教室でweb模擬テストも実施する。授業の最後には授業の「ふりかえり」レポートを提出する。課題の解説等は講義にて行う。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	○	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

講師・日程及び内容が変更される場合がある。1号館1階のキャリア支援センター掲示版にて授業案内を随時確認すること。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

13回以上授業に出席すると共に、講師の講話を真摯に傾聴する姿勢を持つことが単位認定の必須事項。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	70%	0%	0%	20%	10%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
講師の話に傾聴しレポートを作成する。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解でき、更に意見も述べる事ができた。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を幸うして理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できなかった。
自己分析を通しての自己成長。	自分の特徴や長所・短所を具体例を示しながら、端的に説明できるだけでなく、客観的な視点を持って分析することができた。	自分の特徴や長所・短所を具体例を示しながら、端的に説明することができた。	自分の特徴や長所・短所を具体例を示しながら説明することができた。	自分の特徴や長所・短所をおおよそ説明できた。	自分の特徴や長所・短所を説明できなかった。
就職先を考える	希望する就職先を具体的に4社以上列挙できた。	希望する就職先を具体的に3社列挙できた。	希望する就職先を具体的に2社列挙できた。	希望する就職先を具体的に1社列挙できた。	希望する就職先を具体的に列挙できなかった。

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (M) (科目ナンバリング: SOE082056)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員	研究室等所在	各研究室		
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャリア支援委員)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	授業改善アンケート結果反映の説明 講義の概要 - キャリア支援センターの活用方法 -、シラバスの説明	シラバスを熟読し、学習内容全般を理解する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
2	スタートアップ就職ガイダンス - 就職活動の流れや目標設定 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
3	インターンシップの目的と活用	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
4	インターンシップの目的と活用	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
5	就職活動のスケジュール作成	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
6	ビジネスマナー講座	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
7	企業講演	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
8	人事担当者による求める人物像とは(パネルディスカッション)	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
9	筆記試験対策 - SPI 試験対策 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
10	履歴書・エントリーシートの書き方講座	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
11	履歴書・エントリーシート書き方講座	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
12	面接対策講座	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
13	就職活動の身だしなみ講座	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
14	就職内定報告会	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
15	合同・単独企業説明会活用講座	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
16	まとめ・フィードバック 授業改善アンケートの実施	履歴書添削のための準備をする	添削結果を受けて履歴書作成する

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	通年		授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (S) (科目ナンバリング: SOE082056)					
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員			研究室等所在	1号館2階	
単位数	1	(単位認定責任者: 尾西則昭)		CAP制	○	
実務経験のある教員の授業科目	事務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業経営者や若手社員が、オムニバス形式により経験を活かして、業界の特徴や具体的な事業内容、求める人材、仕事の働きがいなどについて講義する。			
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照					

概要

履修目標

学生が就職活動準備を円滑に進めるためには自己分析と自分の特長を表現する力が大切である。さらに業界や企業を知らなければ職業選択の幅を広げることができない。本授業で自己分析や企業研究の進め方、筆記試験対策など、就職活動に必要な準備を行う。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP(1)(2)(3)(4)(5)に対応する。

到達目標

自分のやりたい仕事と希望する就職先を具体的に列挙でき、自己PRや履歴書・エントリーシート、面接試験、筆記試験の対策を円滑に進めることができる。

授業全体の内容と概要

就職活動を始めにあたり、具体的に何をどう準備すればよいのか、就職活動の流れを理解するとともに、計画的に準備するのに必要な自己分析や業界研究、企業研究、面接試験対策、筆記試験対策、履歴書・エントリーシートの書き方を学ぶ。
「SDGs...働きがいも経済成長も」の関連授業

授業の方法

授業はキャリア支援センター員または外部講師により行われる。パワーポイントおよび配布資料を活用し、講義だけでなく演習やグループワークも行う。質問に関しては、その場で解説を行う。

アクティブラーニングの実施方法

○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模範授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

講師・日程及び内容が変更される場合がある。1号館1階のキャリア支援センター掲示版にて授業案内またはバインドノートで随時確認すること。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

13回以上授業に出席すると共に、講師の講話を真摯に傾聴する姿勢を持つことが単位認定の必須事項。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	70%	0%	0%	20%	10%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
レポート	講義の内100%理解したレポートができた。	講義の内容90%理解したレポートができた。	講義の内容80%理解したレポートができた。	講義の内容70%理解したレポートができた。	講義の内容を理解したレポートができなかった。
平常点	授業を理解しようとする積極的な態度を100%できた。	授業を理解しようとする積極的な態度を90%できた。	授業を理解しようとする積極的な態度を80%できた。	授業を理解しようとする積極的な態度を70%できた。	授業を理解しようとする積極的な態度ができなかった。
講師の話を受講しレポートを作成する。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解している。更に意見も述べることができる。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を幸うして理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できていなかった。

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (S) (科目ナンバリング: SOE082056)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員		研究室等所在	1号館2階	
単位数	1 (単位認定責任者: 尾西則昭)		CAP制	○	
実務経験のある教員の授業科目	事務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業経営者や若手社員が、オムニバス形式により経験を活かして、業界の特徴や具体的な事業内容、求める人材、仕事の働きがいなどについて講義する。		

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『P』適時、資料配布『a』					
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	講義の概要 - キャリアセンターの活用法 - シラバスの説明 「授業改善アンケート結果反映の説明」	シラバス熟読し、学習内容全般を理解する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
2	スターアップ就職ガイダンス - 就職活動の流れや目標設定	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
3	インターンシップの目的と活用	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
4	インターンシップの目的と活用	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
5	就職活動のスケジュール作成	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
6	ビジネスマナー講座	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
7	企業講演	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
8	人事担当者による求める人物像とは(パネルディスカッション)	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
9	筆記試験対策 - SPI試験対策	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
10	履歴書・エントリーシートの書き方講座	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
11	履歴書・エントリーシートの書き方講座	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
12	面接対策講座	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
13	就職活動の身だしなみ講座	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
14	就職内定報告会	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
15	合同・単独企業説明会活用講座 「授業改善アンケート実施」	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
16	まとめ フィードバック	履歴書添削のための準備をする。(45分)	履歴書結果を受けて履歴書作成する。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバリング: SOE082056)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員		研究室等所在	各研究室	
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャリア支援委員)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標
<p>学生が就職活動準備を円滑に進めるためには自己分析と自分の特長を表現する力が大切である。さらに業界や企業を知らなければ職業選択の幅を広げることができない。本授業で自己分析や企業研究の進め方、筆記試験対策など、就職活動に必要な準備を行う。</p>

授業の位置づけ
<p>デザイン学科のDP(1)(2)(3)(4)(5)に対応する。</p>

到達目標
<p>自己分析を通しての自己成長及び自分のやりたい仕事と希望する就職先を具体的に列挙でき、履歴書・エントリーシート、面接試験、筆記試験等の対策を円滑に進めることができる。</p>

授業全体の内容と概要
<p>就職活動を始めにあたり、具体的に何をどう準備すればよいのか、就職活動の流れを理解するとともに、計画的に準備するのに必要な自己分析や業界研究、企業研究、面接試験対策、筆記試験対策、履歴書・エントリーシートの書き方を学ぶ。</p>

授業の方法
<p>授業はキャリア支援センター員または外部講師により行われる。パワーポイントおよび配布資料を活用し、講義だけでなく演習やグループワークも行う。また、パソコン教室でweb模擬テストも実施する。授業の最後には授業の「ふりかえり」レポートを提出する。課題の解説等は講義にて行う。</p>

アクティブラーニングの実施方法						
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	○	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
<p>講師・日程及び内容が変更される場合がある。1号館1階のキャリア支援センター掲示版にて授業案内を随時確認すること。</p>

修学サポート(合理的配慮)
<p>事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>13回以上授業に出席すると共に、講師の講話を真摯に傾聴する姿勢を持つことが単位認定の必須事項。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0%</td> <td>70%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	70%	0%	0%	20%	10%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	70%	0%	0%	20%	10%							

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
講師の話に傾聴しレポートを作成する。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解でき、更に意見も述べる事ができた。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を幸うして理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できなかった。
自己分析を通しての自己成長。	自分の特徴や長所・短所を具体例を示しながら、端的に説明できるだけでなく、客観的な視点を持って分析することができた。	自分の特徴や長所・短所を具体例を示しながら、端的に説明することができた。	自分の特徴や長所・短所を具体例を示しながら説明することができた。	自分の特徴や長所・短所をおおよそ説明できた。	自分の特徴や長所・短所を説明できなかった。
就職先を考える	希望する就職先を具体的に4社以上列挙できた。	希望する就職先を具体的に3社列挙できた。	希望する就職先を具体的に2社列挙できた。	希望する就職先を具体的に1社列挙できた。	希望する就職先を具体的に列挙できなかった。

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバリング: SOE082056)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員	研究室等所在	各研究室		
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャリア支援委員)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	授業改善アンケート結果反映の説明 講義の概要 - キャリア支援センターの活用方法 -、シラバスの説明	シラバスを熟読し、学習内容全般を理解する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
2	スタートアップ就職ガイダンス - 就職活動の流れや目標設定 -	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
3	インターンシップの目的と活用	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
4	インターンシップの目的と活用	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
5	就職活動のスケジュール作成	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
6	ビジネスマナー講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
7	企業講演	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
8	人事担当者による求める人物像とは(パネルディスカッション)	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
9	筆記試験対策 - SPI 試験対策 -	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
10	履歴書・エントリーシートの書き方講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
11	履歴書・エントリーシート書き方講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
12	面接対策講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
13	就職活動の身だしなみ講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
14	就職内定報告会	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
15	合同・単独企業説明会活用講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
16	まとめ・フィードバック 授業改善アンケートの実施	履歴書添削のための準備をする(45分)	添削結果を受けて履歴書作成する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (A) (科目ナンバリング: SOE082056)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員		研究室等所在	各研究室	
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャリア支援委員)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標
<p>学生が就職活動準備を円滑に進めるためには自己分析と自分の特長を表現する力が大切である。さらに業界や企業を知らなければ職業選択の幅を広げることができない。本授業で自己分析や企業研究の進め方、筆記試験対策など、就職活動に必要な準備を行う。</p>

授業の位置づけ
<p>建築学科のDP(1)、(2)、(3)、(4)、(5)に対応する。</p>

到達目標
<p>自己分析を通しての自己成長及び自分のやりたい仕事と希望する就職先を具体的に列挙でき、履歴書・エントリーシート、面接試験、筆記試験等の対策を円滑に進めることができる。</p>

授業全体の内容と概要
<p>就職活動を始めにあたり、具体的に何をどう準備すればよいのか、就職活動の流れを理解するとともに、計画的に準備するのに必要な自己分析や業界研究、企業研究、面接試験対策、筆記試験対策、履歴書・エントリーシートの書き方を学ぶ。</p>

授業の方法
<p>授業はキャリア支援センター員または外部講師により行われる。パワーポイントおよび配付資料を活用し、講義だけでなく演習やグループワークも行う。また、パソコン教室でweb模擬テストも実施する。授業の最後には授業の「ふりかえり」レポートを提出する。課題の解説等は講義にて行う。</p>

アクティブラーニングの実施方法					
プレゼンテーション	○	グループワーク	フィールドワーク		PBL
模擬授業		ロールプレイ	調査学習		反転授業
ディスカッション		実験・実習・実技	双方向授業	○	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
<p>講師・日程及び内容が変更される場合がある。1号館1階のキャリア支援センター掲示版にて授業案内を随時確認すること。</p>

修学サポート(合理的配慮)
<p>事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。</p>
資格指定科目
<p></p>

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>13回以上授業に出席すると共に、講師の講話を真摯に傾聴する姿勢を持つことが単位認定の必須事項。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0%</td> <td>70%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	70%	0%	0%	20%	10%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	70%	0%	0%	20%	10%							

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
講師の話に傾聴しレポートを作成する。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解でき、更に意見も述べる事ができた。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を幸うして理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できなかった。
自己分析を通しての自己成長。	自分の特徴や長所・短所を具体例を示しながら、端的に説明できるだけでなく、客観的な視点を持って分析することができた。	自分の特徴や長所・短所を具体例を示しながら、端的に説明することができた。	自分の特徴や長所・短所を具体例を示しながら説明することができた。	自分の特徴や長所・短所をおおよそ説明できた。	自分の特徴や長所・短所を説明できなかった。
就職先を考える	希望する就職先を具体的に4社以上列挙できた。	希望する就職先を具体的に3社列挙できた。	希望する就職先を具体的に2社列挙できた。	希望する就職先を具体的に1社列挙できた。	希望する就職先を具体的に列挙できなかった。

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (A) (科目ナンバリング: SOE082056)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員	研究室等所在	各研究室		
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャリア支援委員)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	授業改善アンケート結果反映の説明 講義の概要 - キャリア支援センターの活用方法 -、シラバスの説明	シラバスを熟読し、学習内容全般を理解する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
2	スタートアップ就職ガイダンス - 就職活動の流れや目標設定 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
3	インターンシップの目的と活用	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
4	インターンシップの目的と活用	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
5	就職活動のスケジュール作成	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
6	ビジネスマナー講座	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
7	企業講演	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
8	人事担当者による求める人物像とは(パネルディスカッション)	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
9	筆記試験対策 - SPI 試験対策 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
10	履歴書・エントリーシートの書き方講座	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
11	履歴書・エントリーシート書き方講座	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
12	面接対策講座	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
13	就職活動の身だしなみ講座	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
14	就職内定報告会	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
15	合同・単独企業説明会活用講座	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
16	まとめ・フィードバック 授業改善アンケートの実施	履歴書添削のための準備をする(45分)	添削結果を受けて履歴書作成する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (M) (科目ナンバリング: SOE082057)				
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー					

概要

履修目標

--

授業の位置づけ

--

到達目標

--

授業全体の内容と概要

--

授業の方法

--

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

--

修学サポート(合理的配慮)

--

資格指定科目

--

評価方法・基準

評価前提条件

--

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (M) (科目ナンバリング: SOE082057)				
授業担当者(所属・職名)			研究室等所在		
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (S) (科目ナンバリング: SOE082057)				
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			
オフィスアワー					

概要

履修目標	
授業の位置づけ	

到達目標	
------	--

授業全体の内容と概要	
------------	--

授業の方法	
-------	--

アクティブラーニングの実施方法	
-----------------	--

プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	
----------	--

修学サポート(合理的配慮)	
---------------	--

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件	
--------	--

評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (S) (科目ナンバリング: SOE082057)				
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバリング: SOE082057)				
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー					

概要

履修目標

--

授業の位置づけ

--

到達目標

--

授業全体の内容と概要

--

授業の方法

--

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	P B L
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

--

修学サポート(合理的配慮)

--

資格指定科目

--

評価方法・基準

評価前提条件

--

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバリング: SOE082057)				
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (A) (科目ナンバリング: SOE082057)				
授業担当者(所属・職名)		研究室等所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			
オフィスアワー					

概要

履修目標

--

授業の位置づけ

--

到達目標

--

授業全体の内容と概要

--

授業の方法

--

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

--

修学サポート(合理的配慮)

--

資格指定科目

--

評価方法・基準

評価前提条件

--

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (A) (科目ナンバリング: SOE082057)				
授業担当者(所属・職名)			研究室等所在		
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	精神保健福祉援助実習 (科目ナンバリング：SWS123048)				
授業担当者(所属・職名)	大島 康雄(社会福祉学科・准教授)、 西野 克俊(社会福祉学科・専任講師)	研究室等所在	1号館2階		
単位数	2 (単位認定責任者：大島 康雄)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	精神保健福祉士として相談援助をしていた教員が、実習に向けた学習・体験などを通じて精神保健福祉援助実習が効果的になるように授業を行います。		
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標

精神保健福祉士として必要な知識・技術についての基礎を理解する。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP(1)(2)(3)(4)(5)に対応する。

到達目標

精神保健福祉分野における現状や課題を認識する。精神保健福祉援助実習の目的が明確にできる。

授業全体の内容と概要

精神保健福祉援助実習の事前指導を行う。「SDG 4.質の高い教育をみんなに」の関連科目。

授業の方法

教科書を使い、板書で内容の整理を行います。実習に向けての事前学習を行い、実習の目的を深めてもらう。また、接遇などを身につけられるように実際の場面を想定し、ロールプレイを行います。ロールプレイの内容に関しては細かく評価し、個別にフィードバックを行います。質問に関してはその場で対応します。ICT活用(双方向型授業・自主学習支援など)、Microsoft Teams/Forms の諸機能を活用し、意見交換、質問、教材配布等を行う。

アクティブラーニングの実施方法

<input type="radio"/>	プレゼンテーション	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	フィールドワーク	<input type="radio"/>	P B L
<input type="radio"/>	模範授業	<input type="radio"/>	ロールプレイ	<input type="radio"/>	調査学習	<input type="radio"/>	反転授業
<input type="radio"/>	ディスカッション	<input type="radio"/>	実験・実習・実技	<input type="radio"/>	双方向授業	<input type="radio"/>	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

出席を重視します。やむを得ず遅刻や欠席をするときには、原則として事前に連絡をすること。精神保健福祉士国家試験の受験資格取得のための必須科目です。知りたい、聞きたい、理解しようという積極的な姿勢が必要であると同時に、精神保健福祉に関する事柄に対し自ら問題意識を持って履修すること。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

精神保健福祉士国家試験受験資格課程

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は12回以上

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	0%	0%	100%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
授業に参加し、事前学習を進めている。	15回以上授業に参加し、事前学習の資料が整理され積極的に学習ができた。	14回授業に参加し、事前学習の資料が整理され積極的に学習ができた。	13回授業に参加し、事前学習の資料が整理され積極的に学習ができた。	12回授業に参加し、事前学習の資料が整理され積極的に学習ができた。	11回以下しか授業に参加できなかった。
実習目標、実習計画が明確になり、実習計画書、自己PRが作成できる。	自己分析が行え、実習計画、自己PRが整理され、記載できた。	実習計画、自己PRが整理され、記載できた。	実習計画か自己PRが整理され、記載できた。	実習計画か自己PRが記載できた。	実習計画、自己PRを記載できなかった。
実習として必要な接遇が行え、適切な相談援助技術を使用できる。	挨拶-アセスメントまで実習で問題ないレベルでできた。	挨拶-アセスメントまでできた。	挨拶-インテークまでできた。	挨拶までできた。	挨拶やソーシャルワークができなかった。

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	精神保健福祉援助実習 (科目ナンバリング: SWS123048)				
授業担当者(所属・職名)	大島 康雄(社会福祉学科・准教授)、 西野 克俊(社会福祉学科・専任講師)	研究室等所在	1号館2階		
単位数	2 (単位認定責任者: 大島 康雄)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	精神保健福祉士として相談援助をしていた教員が、実習に向けた学習・体験などを通じて精神保健福祉援助実習が効果的になるように授業を行います。		

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『「精神保健福祉援助実習指導・実習」』	日本精神保健福祉士養成校協会	中央法規	2012	978-4-8058-5120-3	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション: 精神保健福祉援助実習に向けて、シラバスの説明。	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の指摘事項の確認、修正(90分)
2	精神保健福祉士として必要な知識について	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の指摘事項の確認、修正(90分)
3	精神保健福祉士として必要な技術について	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の指摘事項の確認、修正(90分)
4	精神科病院の見学	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の指摘事項の確認、修正(90分)
5	精神科デイケアなどの見学	精神科デイケアなどの学習(90分)	精神科デイケアなどの振り返り(90分)
6	精神科病院・デイケア見学の振り返り	実習日誌の作成(90分)	実習日誌の指摘事項の確認及び修正(90分)
7	地域活動支援センターの業務理解	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の指摘事項の確認、修正(90分)
8	就労移行・継続支援事業所の業務理解	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の指摘事項の確認、修正(90分)
9	精神科医療機関の業務理解	エントリーシート作成(90分)	エントリーシートの指導内容の確認及び修正(90分)
10	実習計画書作成の仕方	実習計画書の作成(90分)	実習計画書の指導内容の確認及び修正(90分)
11	実習計画書作成	実習計画書の作成(90分)	実習計画書の指導内容の確認及び修正(90分)
12	実習計画書発表	実習計画書の作成(90分)	実習計画書の指導内容の確認及び修正(90分)
13	実習日誌の書き方	事前学習の資料作成(90分)	実習計画書の指導内容の確認及び修正(90分)
14	事前訪問とマナー	実習計画書の修正(90分)	実習計画書の指導内容の確認及び修正(90分)
15	実習に向けて	実習計画書の修正(90分)	電話がけの練習(90分)
16	実習に向けたプレゼンテーション。また、プレゼンテーションの評価を行う。	プレゼンテーションの練習(90分)	プレゼンテーションの振り返り(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	精神保健福祉援助実習 (科目ナンバリング: SWS123049)				
授業担当者(所属・職名)	大島 康雄(社会福祉学科・准教授)、 西野 克俊(社会福祉学科・専任講師)	研究室等所在	1号館2階		
単位数	2 (単位認定責任者: 大島 康雄)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	精神保健福祉士として相談援助をしていた教員が、実習に向けた学習・体験などを通じて精神保健福祉援助実習が効果的になるように授業を行います。		
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標																								
精神保健福祉士として必要な知識・技術についての基礎を培うことをする。																								
授業の位置づけ																								
社会福祉学科のDP(1)(2)(3)(4)(5)に対応する。																								
到達目標																								
精神保健福祉分野における現状や課題を認識する。精神保健福祉援助実習の目的が明確にできる。																								
授業全体の内容と概要																								
精神保健福祉援助実習の事前指導を行う。「SDG 4.質の高い教育をみんなに」の関連科目。																								
授業の方法																								
事前学習を行い、実習の目的を深めてもらう。また、接遇などを身につけられるように練習してもらう。教科書、板書、グループワークや具体的な場面を想定したロールプレイを行う。質問に対してはその場で対応します。また、疑問点に関しては解説を行い、知識のフィードバックを行います。ICT活用(双方向型授業・自主学習支援など)、Microsoft Teams/Formsの諸機能を活用し、意見交換、質問、教材配布等を行う。																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模範授業</td> <td>○</td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL		模範授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業	○	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模範授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
出席を重視します。やむを得ず遅刻や欠席をするときには、原則として事前に連絡をすること。精神保健福祉士国家試験の受験資格取得のための必須科目です。知りたい、聞きたい、理解しようという積極的な姿勢が必要であると同時に、精神保健福祉に関する事柄に対し自ら問題意識を持って履修すること。																								

修学サポート(合理的配慮)
事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。
資格指定科目
精神保健福祉士国家試験受験資格課程

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は12回以上												
評価方法												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	0%	0%	0%	100%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	0%	0%	0%	100%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を越えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業に参加し、事前学習を進めている。</td> <td>15回以上授業に参加し、事前学習の資料が整理され積極的に学習ができた。</td> <td>14回以上授業に参加し、事前学習の資料が整理され積極的に学習ができた。</td> <td>13回以上授業に参加し、事前学習の資料が整理され積極的に学習ができた。</td> <td>12回以上授業に参加し、事前学習の資料が整理され積極的に学習ができた。</td> <td>11回以下しか授業に参加できなかった。</td> </tr> <tr> <td>実習目標、実習計画が明確になり、実習計画書、自己PRが作成できる。</td> <td>自己分析が行え、実習計画になり、実習計画書、自己PRが作成できる。</td> <td>実習計画、自己PRが整理され、記載できた。</td> <td>実習計画か自己PRが整理され、記載できた。</td> <td>実習計画か自己PRが記載できた。</td> <td>実習計画、自己PRを記載できなかった。</td> </tr> <tr> <td>実習として必要な接遇が行え、適切な相談援助技術を使用できる。</td> <td>挨拶-アセスメントまで実習で問題ないレベルまでできた。</td> <td>挨拶-アセスメントまでできた。</td> <td>挨拶-インテークまでできた。</td> <td>挨拶までできた。</td> <td>挨拶やソーシャルワークができなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	授業に参加し、事前学習を進めている。	15回以上授業に参加し、事前学習の資料が整理され積極的に学習ができた。	14回以上授業に参加し、事前学習の資料が整理され積極的に学習ができた。	13回以上授業に参加し、事前学習の資料が整理され積極的に学習ができた。	12回以上授業に参加し、事前学習の資料が整理され積極的に学習ができた。	11回以下しか授業に参加できなかった。	実習目標、実習計画が明確になり、実習計画書、自己PRが作成できる。	自己分析が行え、実習計画になり、実習計画書、自己PRが作成できる。	実習計画、自己PRが整理され、記載できた。	実習計画か自己PRが整理され、記載できた。	実習計画か自己PRが記載できた。	実習計画、自己PRを記載できなかった。	実習として必要な接遇が行え、適切な相談援助技術を使用できる。	挨拶-アセスメントまで実習で問題ないレベルまでできた。	挨拶-アセスメントまでできた。	挨拶-インテークまでできた。	挨拶までできた。	挨拶やソーシャルワークができなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
授業に参加し、事前学習を進めている。	15回以上授業に参加し、事前学習の資料が整理され積極的に学習ができた。	14回以上授業に参加し、事前学習の資料が整理され積極的に学習ができた。	13回以上授業に参加し、事前学習の資料が整理され積極的に学習ができた。	12回以上授業に参加し、事前学習の資料が整理され積極的に学習ができた。	11回以下しか授業に参加できなかった。																								
実習目標、実習計画が明確になり、実習計画書、自己PRが作成できる。	自己分析が行え、実習計画になり、実習計画書、自己PRが作成できる。	実習計画、自己PRが整理され、記載できた。	実習計画か自己PRが整理され、記載できた。	実習計画か自己PRが記載できた。	実習計画、自己PRを記載できなかった。																								
実習として必要な接遇が行え、適切な相談援助技術を使用できる。	挨拶-アセスメントまで実習で問題ないレベルまでできた。	挨拶-アセスメントまでできた。	挨拶-インテークまでできた。	挨拶までできた。	挨拶やソーシャルワークができなかった。																								

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	精神保健福祉援助実習 (科目ナンバリング: SWS123049)				
授業担当者(所属・職名)	大島 康雄(社会福祉学科・准教授)、 西野 克俊(社会福祉学科・専任講師)	研究室等所在	1号館2階		
単位数	2 (単位認定責任者: 大島 康雄)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	精神保健福祉士として相談援助をしていた教員が、実習に向けた学習・体験などを通じて精神保健福祉援助実習が効果的になるように授業を行います。		

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『「精神保健福祉援助実習指導・実習」』	日本精神保健福祉士養成校協会	中央法規	2012年	978-4-8058-5120-3	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション: 精神保健福祉援助実習に向けて、シラバスの説明。	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の資料作成(90分)
2	精神保健福祉士として必要な知識について	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の資料作成(90分)
3	精神保健福祉士として必要な技術について	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の資料作成(90分)
4	精神科病院の見学	事前学習の資料作成(90分)	精神科病院の見学の振り返り(90分)
5	精神科デイケアなどの見学	精神科デイケアなどの学習(90分)	精神科デイケアなどの振り返り(90分)
6	精神科病院・デイケア見学の振り返り	実習日誌の作成(90分)	実習日誌の修正(90分)
7	地域活動支援センターの業務理解	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の資料作成(90分)
8	就労移行・継続支援事業所の業務理解	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の資料作成(90分)
9	精神科医療機関の業務理解	エントリーシート作成(90分)	エントリーシート作成(90分)
10	実習計画書作成の仕方	実習計画書の作成(90分)	実習計画書の作成(90分)
11	実習計画書作成	実習計画書の作成(90分)	実習計画書の作成(90分)
12	実習計画書発表	実習計画書の作成(90分)	実習計画書の作成(90分)
13	実習日誌の書き方	事前学習の資料作成(90分)	実習計画書の修正(90分)
14	事前訪問とマナー	実習計画書の修正(90分)	実習計画書の修正(90分)
15	実習に向けて	実習計画書の修正(90分)	電話がけの練習(90分)
16	実習に向けたプレゼンテーション。	プレゼンテーションの練習(90分)	プレゼンテーションの振り返り(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	特別支援教育実習（事（科目ナンバリング：SNE123116））				
授業担当者（所属・職名）	堀川 厚志（社会福祉学科・特任教授） 、藤根 収（社会福祉学科・特任教		研究室等所在	2号館8階	
単位数	1	（単位認定責任者：堀川 厚志）	CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、教育実習について事前指導する。		
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標

特別支援教育の趣旨や内容を理解するとともに、特別支援学校教諭一種免許状取得のために必要な教育実習の意義を理解する。模擬授業等の演習では、教育実習を見据え、学校現場で教壇に立つ教師の役割を意識して学ぶ。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP(2)(4)(5)に対応する。

到達目標

特別支援学校教育の概要や教育実習について理解し、障害のある子どもの教育活動や授業づくりに必要な基礎的な知識、技能、態度を身に付ける。

授業全体の内容と概要

特別支援学校教育の概要および授業の実践について理解できるとともに、学校の教育活動全般についても具体的な理解を図るようにする。
「SDG4・質の高い教育をみんなに」の関連科目。

授業の方法

授業はパワーポイント及び配布物資料で実施するとともに、学生自らが考えた授業設計や指導案づくり、模擬授業等を実際の学校現場に近い内容で実施する。演習後はコメントにてフィードバックする。また、夏季休暇等を活用して学校現場の見学や公開授業研究会等に参加させ、レポート提出を行う。なお、指導案やレポートにはコメントにてフィードバックする。学生の質問等については、チャット形式などの支援システムで迅速に回答する。

アクティブラーニングの実施方法

<input type="radio"/>	プレゼンテーション	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	フィールドワーク	<input type="radio"/>	PBL
<input type="radio"/>	模擬授業	<input type="radio"/>	ロールプレイ	<input type="radio"/>	調査学習	<input type="radio"/>	反転授業
<input type="radio"/>	ディスカッション	<input type="radio"/>	実験・実習・実技	<input type="radio"/>	双方向授業	<input type="radio"/>	その他（授業の方法参照）

履修上の注意事項

- 常に障害のある子どもの前に立つて指導する姿を想定して授業に臨むこと。
- 4年生での特別支援学校の教育実習（事前・事後指導）の単位取得に必修科目であること。
- 普段から障害のある子どもの生活や教育に関する新聞記事やテレビ情報を収集すること。
- 学習指導案作成にかかわる情報の収集に努め、教育実習に備えること。
- 通年授業なので、下記の授業以外に特別支援学校の参観や研究授業等に参加するようにすること。
- 模擬授業を行う際には、授業者以外は生徒役を実践して授業案の作成・授業展開等について学ぶこと。

修学サポート（合理的配慮）

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員（大学）が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

教職課程（特別支援学校教諭）必修科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	80%	0%	0%	0%	20%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
特別支援教育の基礎的な知識・技能の理解	知識・技能に関する基礎的な内容について高い関心をもって理解し、さらに深めて学ぶことができるようになった。	知識・技能に関する基礎的な内容について、関心をもって理解し、学ぶことができた。	知識・技能に関する基礎的な内容を学ぶことができた。	知識・技能に関する基礎的な内容について一定程度理解することができた。	知識・技能に関する基礎的な内容の理解ができなかった。
授業づくりに対する思考・判断・表現	自ら授業づくりを構想し、創意工夫を凝らした指導案作成と模擬授業に積極的に取り組んだ。	自ら授業づくりを構想し、指導案作成と模擬授業に積極的に取り組んだ。	自ら授業づくりを構想し、指導案作成と模擬授業に取り組んだ。	指導案作成と模擬授業に取り組んだ。	指導案作成と模擬授業への取り組みが十分でなかった。
授業や模擬授業への取り組み姿勢	非常に積極的に取り組むことができた。	積極的に取り組むことができた。	関心をもって取り組むことができた。	関心をもって取り組もうとした。	取組態度・姿勢が不十分だった。

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	特別支援教育実習（事（科目ナンバリング：SNE123116））				
授業担当者（所属・職名）	堀川 厚志（社会福祉学科・特任教授） 、藤根 収（社会福祉学科・特任教		研究室等所在	2号館8階	
単位数	1（単位認定責任者：堀川 厚志）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容。学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、教育実習について事前指導する。			

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『特別支援教育の基礎・基本 2020』	国立特別支援教育総合研究所	ジアース教育新社	2020	978-4-86371-548-6	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『特別支援学校学習指導要領』	文部科学省	海文堂出版	2018	978-4-303-12424-3	
2	『教育実習完璧ガイド』	宮崎 猛 小泉博明	小学館	2015	978-4-09-105015-1	
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	オリエンテーション/シラバスの説明、授業改善アンケート結果反映の説明 等	教育実習に臨む心構えを発表する準備をしておくこと。(90分)	オリエンテーションの重要事項を整理すること。(90分)
2	特別支援学校の教育実習の意義や目標	事前に意義や目標を調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
3	教育実習の実際（挨拶、服従規律、注意点）	前時に学んだことを振り返り、発表できるようにすること。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
4	実習のスケジュールと心構え	先輩等から聴取して、必要な準備やスケジュールを調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
5	実習日誌の書き方、文章の書き方	実習日誌について内容や書き方などを調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
6	特別支援学校教育の実際	特別支援学校児童生徒や教育課程等を調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
7	学習指導案の作成（学習指導案の構成と要素）	学習指導案について内容や必要な要素などを調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
8	学習指導案の作成（学習指導案の記入の方法1）	児童生徒の実態を踏まえた児童生徒の実態を踏まえた目標設定などを調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
9	学習指導案の作成（学習指導案の記入の方法2）	学習指導案の作成の方法などを調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
10	学習指導案の作成（学習指導案の記入の実際1）	対象児童生徒を想定して学習指導案について考えておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
11	学習指導案の作成（学習指導案の記入の実際2）	必要な教材の準備、具体的な指導方法を考えること。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
12	模擬授業の実際（各教科を合わせた指導）	対象児童生徒を想定して模擬授業の準備をしておくこと。(90分)	模擬授業の振り返りと課題等を整理すること。(90分)
13	模擬授業の実際（各教科等を合わせた指導）	対象児童生徒を想定して模擬授業の準備をしておくこと。(90分)	模擬授業の振り返りと課題等を整理すること。(90分)
14	模擬授業の実際（各教科等を合わせた指導）	対象児童生徒を想定して模擬授業の準備をしておくこと。(90分)	模擬授業の振り返りと課題等を整理すること。(90分)
15	模擬授業のまとめと今後の課題 授業改善アンケートの実施	模擬授業の反省点等を明確にして発表できるように準備しておくこと。(90分)	模擬授業の振り返りと課題等を整理すること。(90分)
16	レポート（最終回において解説しフィードバックする。）	講義等の内容を整理しておくこと。(90分)	解説内容を整理すること。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	特別支援教育実習（事（科目ナンバリング：SNE123116））				
授業担当者（所属・職名）	荒木広式（社会福祉学科・特任教授）、千葉聡美（社会福祉学科・特任教授）		研究室等所在	2号館8階	
単位数	1（単位認定責任者：荒木広式）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、教育実習について事前指導する。		
オフィスアワー	研究室前の掲示板等を参照				

概要

履修目標
特別支援教育の趣旨や内容を理解するとともに、特別支援学校教諭一種免許状取得のために必要な教育実習の意義を理解する。模擬授業等の演習では、教育実習を見据え、学校現場で教壇に立つ教師の役割を意識して学ぶ。
授業の位置づけ
「社会福祉学科」のDP（2）（4）（5）に対応する。
到達目標
特別支援学校教育の概要や教育実習について理解し、障害のある子どもの教育活動や授業づくりに必要な基礎的な知識、技能、態度を身に付ける。

到達目標
特別支援学校教育の概要や教育実習について理解し、障害のある子どもの教育活動や授業づくりに必要な基礎的な知識、技能、態度を身に付ける。

到達目標
特別支援学校教育の概要や教育実習について理解し、障害のある子どもの教育活動や授業づくりに必要な基礎的な知識、技能、態度を身に付ける。

授業全体の内容と概要
特別支援学校教育の概要および授業の実践について理解できるとともに、学校の教育活動全般についても具体的な理解を図るようにする。 *SDG4「質の高い教育をみんなに」の関連授業。
授業の方法
授業はパワーポイント及び配布資料で実施するとともに、学生自らが考えた授業設計や指導案づくり、模擬授業等を実際の学校現場に近い内容で実施する。演習後にはコメントにてフィードバックする。また、夏季休暇等を活用して学校現場の見学や公開授業研究会等に参加させ、レポート提出を行う。なお、指導案やレポートにはコメントにてフィードバックする。

授業の方法
授業はパワーポイント及び配布資料で実施するとともに、学生自らが考えた授業設計や指導案づくり、模擬授業等を実際の学校現場に近い内容で実施する。演習後にはコメントにてフィードバックする。また、夏季休暇等を活用して学校現場の見学や公開授業研究会等に参加させ、レポート提出を行う。なお、指導案やレポートにはコメントにてフィードバックする。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="radio"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="radio"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="radio"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="radio"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="radio"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="radio"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="radio"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="radio"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="radio"/></td> <td>その他（授業の方法参照）</td> </tr> </table>	<input type="radio"/>	プレゼンテーション	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	フィールドワーク	<input type="radio"/>	PBL	<input type="radio"/>	模擬授業	<input type="radio"/>	ロールプレイ	<input type="radio"/>	調査学習	<input type="radio"/>	反転授業	<input type="radio"/>	ディスカッション	<input type="radio"/>	実験・実習・実技	<input type="radio"/>	双方向授業	<input type="radio"/>	その他（授業の方法参照）
<input type="radio"/>	プレゼンテーション	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	フィールドワーク	<input type="radio"/>	PBL																	
<input type="radio"/>	模擬授業	<input type="radio"/>	ロールプレイ	<input type="radio"/>	調査学習	<input type="radio"/>	反転授業																	
<input type="radio"/>	ディスカッション	<input type="radio"/>	実験・実習・実技	<input type="radio"/>	双方向授業	<input type="radio"/>	その他（授業の方法参照）																	

履修上の注意事項
<ol style="list-style-type: none"> 常に障害のある子ども前に立つて指導する姿を想定して授業に臨むこと。 4年生での特別支援学校の教育実習（事前・事後指導）の単位取得に必修科目であること。 普段から障害児のある子どもの生活や教育に関する新聞記事やテレビ情報を収集すること。 学習指導案作成にかかわる情報の収集に努め、教育実習に備えること。 通年授業なので、下記の授業以外に特別支援学校の参観や研究授業等に参加するようにすること。 模擬授業を行う際には、授業者以外は生徒役を实践して授業案の作成・授業展開等について学ぶこと。

修学サポート（合理的配慮）
事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員（大学）が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目
教職課程（特別支援）必修科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上												
評価方法												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0%</td> <td>80%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> </tr> </tbody> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	80%	0%	0%	0%	20%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	80%	0%	0%	0%	20%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を越えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別支援教育の基礎的な知識・技能の理解</td> <td>知識・技能に関する基礎的な内容について高い関心をもって理解し、さらに深めて学ぶことができた。</td> <td>知識・技能に関する基礎的な内容について、関心をもって理解し、学ぶことができた。</td> <td>知識・技能に関する基礎的な内容を学ぶことができた。</td> <td>知識・技能に関する基礎的な内容について一定程度理解することができた。</td> <td>知識・技能に関する基礎的な内容の理解ができなかった。</td> </tr> <tr> <td>授業づくりに対する思考・判断・表現</td> <td>自ら授業づくりを構想し、創意工夫を凝らした指導案作成と模擬授業に積極的に取り組んだ。</td> <td>自ら授業づくりを構想し、指導案作成と模擬授業に積極的に取り組んだ。</td> <td>自ら授業づくりを構想し、指導案作成と模擬授業に取り組んだ。</td> <td>指導案作成と模擬授業に取り組んだ。</td> <td>指導案作成と模擬授業への取り組みが十分でなかった。</td> </tr> <tr> <td>授業や模擬授業への取り組み姿勢</td> <td>非常に積極的に取り組むことができた。</td> <td>積極的に取り組むことができた。</td> <td>関心をもって取り組むことができた。</td> <td>関心をもって取り組もうとした。</td> <td>取組態度・姿勢が不十分だった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	特別支援教育の基礎的な知識・技能の理解	知識・技能に関する基礎的な内容について高い関心をもって理解し、さらに深めて学ぶことができた。	知識・技能に関する基礎的な内容について、関心をもって理解し、学ぶことができた。	知識・技能に関する基礎的な内容を学ぶことができた。	知識・技能に関する基礎的な内容について一定程度理解することができた。	知識・技能に関する基礎的な内容の理解ができなかった。	授業づくりに対する思考・判断・表現	自ら授業づくりを構想し、創意工夫を凝らした指導案作成と模擬授業に積極的に取り組んだ。	自ら授業づくりを構想し、指導案作成と模擬授業に積極的に取り組んだ。	自ら授業づくりを構想し、指導案作成と模擬授業に取り組んだ。	指導案作成と模擬授業に取り組んだ。	指導案作成と模擬授業への取り組みが十分でなかった。	授業や模擬授業への取り組み姿勢	非常に積極的に取り組むことができた。	積極的に取り組むことができた。	関心をもって取り組むことができた。	関心をもって取り組もうとした。	取組態度・姿勢が不十分だった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
特別支援教育の基礎的な知識・技能の理解	知識・技能に関する基礎的な内容について高い関心をもって理解し、さらに深めて学ぶことができた。	知識・技能に関する基礎的な内容について、関心をもって理解し、学ぶことができた。	知識・技能に関する基礎的な内容を学ぶことができた。	知識・技能に関する基礎的な内容について一定程度理解することができた。	知識・技能に関する基礎的な内容の理解ができなかった。																								
授業づくりに対する思考・判断・表現	自ら授業づくりを構想し、創意工夫を凝らした指導案作成と模擬授業に積極的に取り組んだ。	自ら授業づくりを構想し、指導案作成と模擬授業に積極的に取り組んだ。	自ら授業づくりを構想し、指導案作成と模擬授業に取り組んだ。	指導案作成と模擬授業に取り組んだ。	指導案作成と模擬授業への取り組みが十分でなかった。																								
授業や模擬授業への取り組み姿勢	非常に積極的に取り組むことができた。	積極的に取り組むことができた。	関心をもって取り組むことができた。	関心をもって取り組もうとした。	取組態度・姿勢が不十分だった。																								

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	特別支援教育実習（事（科目ナンバリング：SNE123116））				
授業担当者（所属・職名）	荒木広式（社会福祉学科・特任教授）、千葉聡美（社会福祉学科・特任教授）		研究室等所在	2号館8階	
単位数	1	（単位認定責任者：荒木広式）	CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、教育実習について事前指導する。		

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『特別支援教育の基礎・基本 2020』	国立特別支援教育総合研究所	ジアース教育新社	2020	978-4-86371-548-6	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『特別支援学校学習指導要領』	文部科学省	海文堂出版	2018	978-4-303-12424-3	
2	『教育実習完璧ガイド』	宮崎 猛 小泉博明	小学館	2015	978-4-09-105015-1	
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	オリエンテーション/シラバスの説明等	教育実習に臨む心構えを発表する準備をしておくこと。(90分)	オリエンテーションの重要事項を整理すること。(90分)
2	特別支援学校の教育実習の意義や目標	事前に意義や目標を調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
3	教育実習の実際（挨拶、服従規律、注意点）	前時に学んだことを振り返り、発表できるようにすること。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
4	実習のスケジュールと心構え	先輩等から聴取して、必要な準備やスケジュールを調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
5	実習日誌の書き方、文章の書き方	実習日誌について内容や書き方などを調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
6	特別支援学校教育の実際	特別支援学校児童生徒や教育課程等を調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
7	学習指導案の作成（学習指導案の構成と要素）	学習指導案について内容や必要な要素などを調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
8	学習指導案の作成（学習指導案の記入の方法1）	児童生徒の実態を踏まえた児童生徒の実態を踏まえた目標設定などを調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
9	学習指導案の作成（学習指導案の記入の方法2）	学習指導案の作成の方法などを調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
10	学習指導案の作成（学習指導案の記入の実際1）	対象児童生徒を想定して学習指導案について考えておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
11	学習指導案の作成（学習指導案の記入の実際2）	必要な教材の準備、具体的な指導方法を考えること。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。(90分)
12	模擬授業の実際（各教科を合わせた指導）	対象児童生徒を想定して模擬授業の準備をしておくこと。(90分)	模擬授業の振り返りと課題等を整理すること。(90分)
13	模擬授業の実際（各教科等を合わせた指導）	対象児童生徒を想定して模擬授業の準備をしておくこと。(90分)	模擬授業の振り返りと課題等を整理すること。(90分)
14	模擬授業の実際（各教科等を合わせた指導）	対象児童生徒を想定して模擬授業の準備をしておくこと。(90分)	模擬授業の振り返りと課題等を整理すること。(90分)
15	模擬授業のまとめと今後の課題	模擬授業の反省点を明確にして発表できるように準備しておくこと。(90分)	模擬授業の振り返りと課題等を整理すること。(90分)
16	レポート（最終回において解説しフィードバックする。）	講義等の内容を整理しておくこと。(90分)	解説内容を整理すること。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	教育実践に関する科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	必修
科目名称	学校インターシップ ^o （学校）（科目ナンバリング：ESS143164，ESS243112，ESS343105，ESS443107，ESS543116）				
授業担当者（所属・職名）	渡部 斎（社会福祉学科・教授）、荒木 広式（社会福祉学科・特任教授）、藤根 収	研究室等所在	2号館8階		
単位数	1（単位認定責任者：堀川厚志）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	実務経験のある教員が学校体験活動に必要な事項を指導する。		
オフィスアワー	研究室前の掲示板等を参照				

概要

履修目標
体験活動において、児童生徒や学習環境等に対して適切な観察を行うとともに、学校実務に対する補助的な役割を担うことを通して、次の目標を達成することができる。 児童又は生徒の実態と、これを踏まえた学校経営及び教育活動の特色を理解することができる。 教員に求められる資質能力や自らの教員としての適格性を把握することができる。

授業の位置づけ
経営学科のDP(2)と(4)と(5)に対応する。 デザイン学科のDP(2)と(4)に対応する。 建築学科のDP(2)と(4)に対応する。 社会福祉学科のDP(2)と(4)と(5)に対応する。

到達目標
学校において一定量の体験活動を行うことにより、学校教育の実際を総合的に理解することができる。

授業全体の内容と概要
学校において学校運営にかかわる体験活動を行うことにより、児童生徒の実態と、これを踏まえた学校経営及び教育活動の特色を理解するとともに、教員に求められる資質能力や自らの教員としての適格性を把握する。 活動ごとに活動報告書に記入し、活動体験発表会にて活動状況等について発表する。

授業の方法
学校において、生徒の話し相手、授業補助、学校行事・部活動への参加、事務作業の補助、放課後児童クラブ、放課後教室、土曜授業の補助、特別支援活動等に従事するとともに、活動報告書に具体的な活動及び学修事項を記入する。 体験活動発表会において成果等を発表し全体で共有する。 活動報告書については、評価とコメントにてフィードバックを行う。

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td>○</td> <td>その他（授業の方法参照）</td> </tr> </table>	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業	○	その他（授業の方法参照）
プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業	○	その他（授業の方法参照）															

履修上の注意事項
服装・頭髪はもとより、個人情報等の取り扱い等について体験活動受入先の指示に従うこと。 出席状況、受講態度の点で適格性を欠いていると判断された学生は、以後学習活動の機会を失うことがある。 担当教員は適宜、体験活動視察及び面談指導を行う。

修学サポート（合理的配慮）
事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員（大学）が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目
教職課程（全教科）必修科目

評価方法・基準

評価前提条件												
事前指導・事後指導を含め、高等学校等における体験活動等を4.5分×3.0単位時間（1350分）以上行わなければならない。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>80%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	0%	0%	0%	80%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	0%	0%	0%	80%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>知識・技能</td> <td>右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。</td> <td>活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性についてよく理解することができた。</td> <td>活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について概ね理解することができた。</td> <td>活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について最低限理解することができた。</td> <td>活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について理解が著しく不足し、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力等</td> <td>右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。</td> <td>活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題について十分に思考・判断することができた。</td> <td>活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題について概ね思考・判断することができた。</td> <td>活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題について最低限思考・判断することができた。</td> <td>活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題がなされず、期待される最低限度の基準に到達できなかった。</td> </tr> <tr> <td>意欲（主体的・積極的な取組態度）</td> <td>右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。</td> <td>各体験活動に大変主体的・積極的に取り組むことができた。</td> <td>各体験活動に概ね主体的・積極的に取り組むことができた。</td> <td>各体験活動への取組に特段の意欲・積極性は見られなかった。</td> <td>各体験活動に主体的・積極的に取り組む態度が著しく欠け、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。</td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・技能	右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性についてよく理解することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について概ね理解することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について最低限理解することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について理解が著しく不足し、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。	思考力・判断力・表現力等	右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題について十分に思考・判断することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題について概ね思考・判断することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題について最低限思考・判断することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題がなされず、期待される最低限度の基準に到達できなかった。	意欲（主体的・積極的な取組態度）	右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。	各体験活動に大変主体的・積極的に取り組むことができた。	各体験活動に概ね主体的・積極的に取り組むことができた。	各体験活動への取組に特段の意欲・積極性は見られなかった。	各体験活動に主体的・積極的に取り組む態度が著しく欠け、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
知識・技能	右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性についてよく理解することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について概ね理解することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について最低限理解することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について理解が著しく不足し、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。																								
思考力・判断力・表現力等	右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題について十分に思考・判断することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題について概ね思考・判断することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題について最低限思考・判断することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題がなされず、期待される最低限度の基準に到達できなかった。																								
意欲（主体的・積極的な取組態度）	右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。	各体験活動に大変主体的・積極的に取り組むことができた。	各体験活動に概ね主体的・積極的に取り組むことができた。	各体験活動への取組に特段の意欲・積極性は見られなかった。	各体験活動に主体的・積極的に取り組む態度が著しく欠け、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。																								

基本情報

科目分類区分	教育実践に関する科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	必修
科目名称	学校インターシップ ^o （学校）（科目ナンバリング：ESS143164，ESS243112，ESS343105，ESS443107，ESS543116）				
授業担当者（所属・職名）	渡部 斎（社会福祉学科・教授）、荒木 広式（社会福祉学科・特任教授）、藤根 収	研究室等所在	2号館 8階		
単位数	1（単位認定責任者：堀川厚志）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 実務経験のある教員が学校体験活動に必要な事項を指導する。			

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	事前指導・オリエンテーション（シラバスの説明含む）	シラバスを読む（45分）	体験活動のシステムを復習する（45分）
2	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（45分）	活動報告書を完成する（45分）
3	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（45分）	活動報告書を完成する（45分）
4	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（45分）	活動報告書を完成する（45分）
5	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（45分）	活動報告書を完成する（45分）
6	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（45分）	活動報告書を完成する（45分）
7	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（45分）	活動報告書を完成する（45分）
8	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（45分）	活動報告書を完成する（45分）
9	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（45分）	活動報告書を完成する（45分）
10	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（45分）	活動報告書を完成する（45分）
11	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（45分）	活動報告書を完成する（45分）
12	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（45分）	活動報告書を完成する（45分）
13	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（45分）	活動報告書を完成する（45分）
14	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（45分）	活動報告書を完成する（45分）
15	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う（45分）	活動報告書を完成する（45分）
16	事後指導における活動体験の振り返りと体験発表	活動体験をまとめる（45分）	活動報告書の感想を書く（45分）

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	必修
科目名称	学校イターンシップ ^o （学校（科目ナンバリング：ESS143164，ESS243112，ESS343105，ESS443107，ESS543116））				
授業担当者（所属・職名）	渡部 齋（社会福祉学科・教授）、荒木 広式（社会福祉学科・特任教授）、藤根 収		研究室等所在	2号館8階	
単位数	1（単位認定責任者：堀川厚志）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	実務経験のある教員が学校体験活動に必要な事項を指導する。		
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照。				

概要

履修目標
体験活動において、児童生徒や学習環境等に対して適切な観察を行うとともに、学校実務に対する補助的な役割を担うことを通して、次の目標を達成することができる。 児童又は生徒の実態と、これを踏まえた学校経営及び教育活動の特色を理解することができる。 教員に求められる資質能力や自らの教員としての適格性を把握することができる。
授業の位置づけ
経営学科のDP(2)と(4)と(5)に対応する。 デザイン学科のDP(2)と(4)に対応する。 建築学科のDP(2)と(4)に対応する。 社会福祉学科のDP(2)と(4)と(5)に対応する。
到達目標
学校において一定量の体験活動を行うことで、学校教育の実態を総合的に理解することができる。

到達目標
学校において一定量の体験活動を行うことで、学校教育の実態を総合的に理解することができる。

授業全体の内容と概要
学校において、学校運営にかかわる体験活動を行うことにより、児童又は生徒の実態と、これを踏まえた学校経営及び教育活動の特色を理解するとともに、教員に求められる資質能力や自らの教員としての適格性を把握する。 活動ごとに活動記録を記入し、活動体験発表会にて発表する。

授業の方法
学校において、生徒の話し相手、授業補助、学校行事・部活動への参加、事務作業の補助、放課後児童クラブ、放課後教室、土曜授業の補助、特別支援活動等に従事するとともに、活動日誌に具体的な活動及び学修事項を記入する。 体験活動について全体発表会において成果等を発表し共有する。 活動報告については、評価とコメントにてフィードバックを行う。

アクティブラーニングの実施方法					
プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業	○ その他（授業の方法参照）

履修上の注意事項
服装・頭髪はもとより、個人情報等の取り扱い等について体験活動受入先の指示に従うこと。 出席状況、受領態度の点で適格性を欠いていると判断された学生は、以後学習活動の機会を失うことがある。 担当教員は適宜、体験活動視察及び面談指導を行う。

修学サポート（合理的配慮）
事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員（大学）が同意のもと、修学サポートする。
資格指定科目
教職課程（全教科）必修科目

評価方法・基準

評価前提条件					
事前指導・事後指導を含め、高等学校等における体験活動等を4.5分×3.0単位時間（1350分）以上行わなければならない。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	20%	0%	0%	0%	80%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性についてよく理解することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について概ね理解することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について最低限理解することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性について理解が著しく不足し、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。
思考力・判断力・表現力等	右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題について十分に思考・判断することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題について概ね思考・判断することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題について最低限思考・判断することができた。	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる資質能力及び自らの適格性や解決すべき課題がなされず、期待される最低限度の基準に到達できなかった。
意欲（主体的・積極的な取組態度）	右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。	各体験活動に大変主体的・積極的に取り組むことができた。	各体験活動に概ね主体的・積極的に取り組むことができた。	各体験活動への取組に特段の意欲・積極性は見られなかった。	各体験活動に主体的・積極的に取り組む態度が著しく欠け、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	必修
科目名称	学校インターシップ ^o （学校）（科目ナンバリング：ESS143164，ESS243112，ESS343105，ESS443107，ESS543116）				
授業担当者（所属・職名）	渡部 齋（社会福祉学科・教授）、荒木 広式（社会福祉学科・特任教授）、藤根 収		研究室等所在	2号館 8階	
単位数	1	（単位認定責任者：堀川厚志）	CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 実務経験のある教員が学校体験活動に必要な事項を指導する。			

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	体験活動のシステムを復習する (45分)
2	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
3	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
4	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
5	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
6	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
7	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
8	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
9	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
10	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
11	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
12	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
13	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
14	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動記録表を完成する (45分)
15	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)
16	4次事後指導・活動体験発表	活動をまとめる (45分)	活動体験発表の感想を書く (45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	保育実習指導 (科目ナンバリング: CHS122096)				
授業担当者(所属・職名)	吉江 幸子(社会福祉学科・准教授) 湯浅 頼佳(社会福祉学科・専任講師)	研究室等所在	1号館2階(吉江) 階(湯浅)	1号館3	
単位数	2 (単位認定責任者: 吉江 幸子)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	保育士として保育施設での勤務経験があり、その経験を生かして保育実習に向けた指導を行う。		
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照。				

概要

履修目標
<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習の意義と目的を理解する。 2. 実務実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 3. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 4. 児童憲章について理解を深める。 5. 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 6. 実習の事後指導を通じて、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。
授業の位置づけ
社会福祉学科のDP(2)(5)に対応する。

到達目標
実習の意義、実習の内容と課題の明確化、実習に際しての留意事項、実習の計画と記録について理解する。

授業全体の内容と概要
実習の意義、実習の内容と課題の明確化、実習に際しての留意事項、実習の計画と記録について学修する。 「SDG4. 質の高い教育をみんなに」の関連科目。
授業の方法
授業はパワーポイントや視聴覚教材(DVD・ブルーレイ)も取り入れながら演習形式で行う。実習の事前指導及び事後指導も含まれるので必要に応じてグループワークやグループ学習も実施し、その都度発生した疑問・質問などにはフィードバックとして解説を行い、実習終了後は報告会を実施する。Microsoft Teams/Forms の諸機能を活用し、意見交換、質問、教材配布等を行う。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td>○</td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業	○	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
<p>「各授業回数における学習内容」に記載の「準備学習」「事後学習」を参照する事。 レポート、課題、その他(実習先の評価、実習日報、事前・事後学習における態度、書類の提出状況、実習報告書等)を基準に則り評価する。 正当な理由なき遅刻や欠席及び保育者の資質に欠けると判断された学生は、実習をとりやめとする。 実習終了後の書類提出の期日を守らない場合は評価は評価(単位認定)しない。 実習全体のまとめと今後の課題を明確にするためのレポート提出1回課す。 なお、詳細(レポート課題、提出方法等)は授業時間に指示する。 実習履修条件として2年次後期の実習選考試験の合格及び次の科目を取得している事を原則とする。 「児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」「相談援助演習」「相談援助の基盤と専門職」「保育内容演習」。</p>

修学サポート(合理的配慮)
事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目
保育士養成課程

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、前期11回以上及び後期11回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>10%</td> <td>0%</td> <td>10%</td> <td>60%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	10%	0%	10%	60%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	10%	0%	10%	60%							

ルーブリック																																			
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にいるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>知識・技能(何を知っているか、何が出来るか)</td> <td>保育の専門的知識について十分理解していた。</td> <td>保育の専門的知識について概ね理解していた。</td> <td>保育の専門的知識について理解していた。</td> <td>保育の専門的知識について多少は理解していた。</td> <td>保育の専門的知識について理解していなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力等(知っていること、できることをどう使うか)</td> <td>保育の基本を踏まえた保育技術の展開について十分に考察できた。</td> <td>保育の基本を踏まえた保育技術の展開について概ね考察できた。</td> <td>保育の基本を踏まえた保育技術の展開について考察できた。</td> <td>保育の基本を踏まえた保育技術の展開について多少は考察できた。</td> <td>保育の基本を踏まえた保育技術の展開について考察できなかった。</td> </tr> <tr> <td>主体的に取り組む態度(どのように関わるか)</td> <td>保育実習による総合的な学びを、記録で十分に表すことができた。</td> <td>保育実習による総合的な学びを、記録で概ね表すことができた。</td> <td>保育実習による総合的な学びを、記録で表すことができた。</td> <td>保育実習による総合的な学びを、記録で多少は表すことができた。</td> <td>保育実習による総合的な学びを、記録で表すことができなかった。</td> </tr> <tr> <td>パフォーマンス(知識、スキルを使いこなす活用、応用)</td> <td>保育実習による自己評価と課題の明確化に積極的に取り組むことができた。</td> <td>保育実習による自己評価と課題の明確化に概ね取り組むことができた。</td> <td>保育実習による自己評価と課題の明確化に取り組みることができた。</td> <td>保育実習による自己評価と課題の明確化に多少は取り組むことができた。</td> <td>保育実習による自己評価と課題の明確化に取り組むことができなかった。</td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にいるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・技能(何を知っているか、何が出来るか)	保育の専門的知識について十分理解していた。	保育の専門的知識について概ね理解していた。	保育の専門的知識について理解していた。	保育の専門的知識について多少は理解していた。	保育の専門的知識について理解していなかった。	思考力・判断力・表現力等(知っていること、できることをどう使うか)	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について十分に考察できた。	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について概ね考察できた。	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について考察できた。	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について多少は考察できた。	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について考察できなかった。	主体的に取り組む態度(どのように関わるか)	保育実習による総合的な学びを、記録で十分に表すことができた。	保育実習による総合的な学びを、記録で概ね表すことができた。	保育実習による総合的な学びを、記録で表すことができた。	保育実習による総合的な学びを、記録で多少は表すことができた。	保育実習による総合的な学びを、記録で表すことができなかった。	パフォーマンス(知識、スキルを使いこなす活用、応用)	保育実習による自己評価と課題の明確化に積極的に取り組むことができた。	保育実習による自己評価と課題の明確化に概ね取り組むことができた。	保育実習による自己評価と課題の明確化に取り組みることができた。	保育実習による自己評価と課題の明確化に多少は取り組むことができた。	保育実習による自己評価と課題の明確化に取り組むことができなかった。
評価項目		評価基準																																	
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にいるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																														
知識・技能(何を知っているか、何が出来るか)	保育の専門的知識について十分理解していた。	保育の専門的知識について概ね理解していた。	保育の専門的知識について理解していた。	保育の専門的知識について多少は理解していた。	保育の専門的知識について理解していなかった。																														
思考力・判断力・表現力等(知っていること、できることをどう使うか)	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について十分に考察できた。	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について概ね考察できた。	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について考察できた。	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について多少は考察できた。	保育の基本を踏まえた保育技術の展開について考察できなかった。																														
主体的に取り組む態度(どのように関わるか)	保育実習による総合的な学びを、記録で十分に表すことができた。	保育実習による総合的な学びを、記録で概ね表すことができた。	保育実習による総合的な学びを、記録で表すことができた。	保育実習による総合的な学びを、記録で多少は表すことができた。	保育実習による総合的な学びを、記録で表すことができなかった。																														
パフォーマンス(知識、スキルを使いこなす活用、応用)	保育実習による自己評価と課題の明確化に積極的に取り組むことができた。	保育実習による自己評価と課題の明確化に概ね取り組むことができた。	保育実習による自己評価と課題の明確化に取り組みることができた。	保育実習による自己評価と課題の明確化に多少は取り組むことができた。	保育実習による自己評価と課題の明確化に取り組むことができなかった。																														

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	保育実習指導 (科目ナンバリング: CHS122096)				
授業担当者(所属・職名)	吉江 幸子(社会福祉学科・准教授) 湯浅 頼佳(社会福祉学科・専任講師)	研究室等所在	1号館2階(吉江) 1号館3階(湯浅)		
単位数	2 (単位認定責任者: 吉江 幸子)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容を、保育士として保育施設での勤務経験があり、その経験を生かして保育実習に向けた指導を行う。			

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド 第二版』	石橋裕子・林 幸範 編著	同文書院	2020年	9784810314755	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『実習の手引き』					
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション及びシラバスの説明	保育所実習の目的について考え、教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
2	保育所実習の意義(1)実習の目的	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
3	保育所実習の意義(2)実習の概要	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
4	保育所実習の内容と課題の明確化(1)実習の内容	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
5	保育所実習の内容と課題の明確化(2)実習の課題	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
6	保育所実習に際しての留意事項(1)子どもの人権と最善の利益の考慮	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
7	保育所実習に際しての留意事項(2)プライバシーの保護と守秘義務	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
8	保育所実習に際しての留意事項(3)実習生としての心構え	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
9	保育所実習の計画と記録(1)指導計画の作成	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
10	保育所実習の計画と記録(2)指導計画の実践	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
11	保育所実習の計画と記録(3)指導計画の改善	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
12	保育所実習の計画と記録(4)実習における記録及び評価	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
13	事後指導における実習の総括と課題の明確化(1)保育所実習の総括と自己評価	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
14	事後指導における実習の総括と課題の明確化(2)課題の明確化	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
15	保育所実習報告会	保育所実習報告会の資料を作成する(45分)	保育所実習報告会のまとめと反省を行う(45分)
16	保育所実習のまとめと振り返り	保育所実習のまとめと振り返りの準備をする(45分)	施設実習の目的について考える(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17	施設実習のオリエンテーション	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
18	施設実習の意義(1)実習の目的	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
19	施設実習の意義(2)実習の概要	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
20	施設実習の内容と課題の明確化(1)実習の内容	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
21	施設実習の内容と課題の明確化(2)実習の課題	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
22	施設実習に際しての留意事項(1)子どもの人権と最善の利益の考慮	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
23	保育所実習に際しての留意事項(2)プライバシーの保護と守秘義務	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
24	施設実習に際しての留意事項(3)実習生としての心構え	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
25	施設実習の計画と記録(1)指導計画の作成	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
26	施設実習の計画と記録(2)指導計画の実践	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
27	施設実習の計画と記録(3)指導計画の改善	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
28	施設実習の計画と記録(4)実習における記録及び評価	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
29	事後指導における実習の総括と課題の明確化(1)保育所実習の総括と自己評価	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
30	事後指導における実習の総括と課題の明確化(2)課題の明確化	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
31	施設実習報告会	施設実習報告会の資料を作成する(45分)	施設実習報告会のまとめと反省を行う(45分)
32	施設実習のまとめと振り返り	施設実習のまとめと振り返りに向けて準備をする(45分)	施設実習について振り返り考察する(45分)

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	保育実習指導 (科目ナンバリング: CHS123097)				
授業担当者(所属・職名)	吉江 幸子(社会福祉学科・准教授)	研究室等所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 吉江 幸子)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	保育現場における実習指導の経験を活かし、実習の事前事後指導を行う。		
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照。				

概要

履修目標

この科目は、以下の5つを授業の目的とする。
 1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ。
 2. 実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培う。
 3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。
 4. 保育士の専門性と職業倫理について理解する。
 5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP(1)(3)(4)(5)に対応する。

到達目標

保育実習による総合的な学び、保育実践力の育成、計画と観察、記録、自己評価、保育士の専門性と職業倫理について理解し、具体的に述べる。

授業全体の内容と概要

保育実習(保育所実習)の履修者に対して指導を行う。保育実習による総合的な学び、保育実践力の育成、計画と観察、記録、自己評価、保育士の専門性と職業倫理について学修する。*SDG4. 質の高い教育をみんなに」の関連科目。

授業の方法

授業は、板書とパワーポイント、グループ学習を取り入れ、意見を出し合う場を多く設定する。
 また、模擬保育を取り入れ、お互いを評価しあう時間を設定する。
 提出されたレポートにはコメントをつけてフィードバックする。
 Microsoft Teams/Formsの諸機能を活用し、意見交換、質問、教材配布等を行う。

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

正当な理由なき遅刻、欠席は実習をとりやめにする。保育者の資格に欠ける者は、実習をとりやめとする。実習終了後の書類提出の期日を守らない場合は評価(単位認定)しない。その他実習全体のまとめと今後の課題を明確にするためレポート提出を1回課す。なお、詳細(レポート課題・提出方法等)は授業時間に指示する。保育実習を選択した場合は、必ず保育実習指導を選択すること。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

保育士養成課程

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は11回以上。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	20%	20%	0%	60%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
実習に関する知識・技能(何を知っているか、何ができるか)	保育実習の総合的な学びの意義について深く理解できた。	保育実習の総合的な学びの意義についておおむね理解できた。	保育実習の総合的な学びの意義について理解できた。	保育実習の総合的な学びの意義について多少理解できた。	保育実習の総合的な学びの意義について理解することができなかった。
保育実習に向けた思考力・判断力・表現力等(知っていること、できることをどう使うか)	保育実習の総合的な学びと実践力について十分に考察できた。	保育実習の総合的な学びと実践力についておおむね考察できた。	保育実習の総合的な学びと実践力について考察できた。	保育実習の総合的な学びと実践力について多少考察できた。	保育実習の総合的な学びと実践力について考察することができなかった。
主体的に取り組む態度(どのように関わるか)	保育実習の意義や実践力を身につけることの重要性をわかりやすく説明できた。	保育実習の意義や実践力を身につけることの重要性をおおむね説明できた。	保育実習の意義や実践力を身につけることの重要性を説明できた。	保育実習の意義や実践力を身につけることの重要性を多少説明できた。	保育実習の意義や実践力を身につけることの重要性を説明することができなかった。
パフォーマンス(知識、スキルを使いこなす活用、応用)	自己を向上させるために学修した内容をまとめ、プレゼンテーションによって具体的に報告できた。	自己を向上させるために学修した内容をまとめ、プレゼンテーションによっておおむね報告できた。	自己を向上させるために学修した内容をまとめ、プレゼンテーションによって報告できた。	自己を向上させるために学修した内容をまとめ、プレゼンテーションによって多少報告できた。	自己を向上させるために学修した内容をまとめ、プレゼンテーションによって報告することができなかった。

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	保育実習指導 (科目ナンバリング: CHS123097)				
授業担当者(所属・職名)	吉江 幸子(社会福祉学科・准教授)	研究室等所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 吉江 幸子)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	保育現場における実習指導の経験を活かし、実習の事前事後指導を行う。		

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『実習の手引き』					学内テキスト
2	『新訂しりたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド』	石橋裕子・林幸範	同文書院	2020	9784810314755	
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『保育所保育指針<平成29年告示>』	厚生労働省	フレーベル館	2017	9784577814239	
2						
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 オリエンテーション 授業改善アンケート結果反映の説明	指定した教科書を事前に読むこと(45分)。	1回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
2	事前指導 保育実習 のふりかえり	保育実習 の記録を読み返しておく(45分)。	2回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
3	事前指導 保育実習 の目的・内容・方法	実習の手引きについて事前学習しておく(45分)。	3回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
4	事前指導 実習課題の設定	保育実習 の課題を省察する(45分)。	授業終了時に示す課題を作成する(45分)。
5	事前指導 指導計画の立案について	2年次履修「保育課程論」を読み返しておく(45分)。	5回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
6	保育実習による総合的な学び(1)子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解	教科書の「実習の準備」を事前学習しておく(45分)。	6回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
7	保育実習による総合的な学び(2)子どもの保育と保護者支援	教科書の「保育実技」を事前学習しておく(45分)。	7回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
8	保育実践力の育成(1)子どもの状態に応じた適切なかわり	教科書の「保育実技」を事前学習しておく(45分)。	8回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
9	保育実践力の育成(2)保育の表現技術を生かした保育実践	教科書の「保育実技」を事前学習する(45分)。	9回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
10	保育実践力の育成(3)未満児・以上児における指導案の作成と事前準備	乳児及び未満児対応について事前学習する(45分)。	10回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
11	計画と観察、記録、自己評価(1)保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践	教科書の「記録」を事前学習しておく(45分)。	11回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
12	計画と観察、記録、自己評価(2)保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善	実習記録用紙書式をよく確認しておく(45分)。	12回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
13	事後指導 保育園における保育士の職務	実習のまとめ・報告準備を進める(45分)。	13回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
14	事後指導 実習報告会の実施	報告会の準備、練習をしておく(45分)。	報告会の自己評価をする(45分)。
15	事後指導 実習の総括と今後への課題	実習で学んだ事、課題を整理しておく(45分)。	授業の目的の達成度を自己評価する(45分)。
16	提出レポート、課題の解説とフィードバック 授業改善アンケートの実施	実習内容を振り返り課題抽出(45分)。	課題の解説に基づき復習し整理する(45分)。

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	保育実習指導 (科目ナンバリング: CHS123098)				
授業担当者(所属・職名)	湯浅 頼佳 (社会福祉学科・専任講師)	研究室等所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 湯浅 頼佳)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標

1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ。
2. 実習や就職の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培う。
3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。
4. 保育士の専門性と職業倫理について理解する。
5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP(2)、(5)に対応する。

到達目標

保育実習による総合的な学び、保育実践力の育成、計画と観察、記録、自己評価、保育士の専門性と職業倫理について理解する。

授業全体の内容と概要

保育実習(施設実習)の履修者に対して指導を行う。保育実習による総合的な学び、保育実践力の育成、計画と観察、記録、自己評価、保育士の専門性と職業倫理について学修する。

授業の方法

授業はパワーポイントや視聴覚教材(DVD・ブルーレイ)も取り入れながら演習形式で行う。実習の事前指導及び事後指導も含まれるので必要に応じてグループワークやグループ学習も実施し、その都度発生した疑問・質問などにはフィードバックとして解説を行い、実習終了後は報告会を実施する。

アクティブラーニングの実施方法

○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

「各授業回数における学習内容」に記載の「準備学習」「事後学習」を参照する事。10回以上の出席がなければ、成績評価の対象としない。正当な理由なき遅刻・欠席は実習をとりやめにする。保育者の資格に欠ける者は、実習をとりやめとする。実習終了後の書類提出の期日を守らない場合は評価(単位認定)しない。保育実習実施後、原稿用紙(400字)約3枚程度のレポート提出を1回課す。その他実習全体のまとめと今後の課題を明確にするため原稿用紙(400字)約4枚程度のレポート提出を1回課す。なお、詳細(レポート課題・提出方法等)は授業時間に指示する。「保育実習指導」は、保育士資格を取得するための必修科目である。「保育実習指導」が「保育実習指導」のいずれかを必ず選択すること。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

保育士養成課程

評価方法・基準

評価前提条件

授業回数の3分の2(11回)以上の出席がなければ、成績評価の対象としない。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	20%	10%	0%	10%	60%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にいるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能(何を知っているか、何ができるか)	児童福祉施設等における保育の専門知識の活用について十分に理解できた。	児童福祉施設等における保育の専門知識の活用について概ね理解できた。	児童福祉施設等における保育の専門知識の活用について理解できた。	児童福祉施設等における保育の専門知識の活用について多少は理解できた。	児童福祉施設等における保育の専門知識の活用について理解できなかった。
思考力・判断力・表現力等(知っていること、できることをどう使うか)	児童福祉施設等における保育技術の展開について十分に考察できた。	児童福祉施設等における保育技術の展開について概ね考察できた。	児童福祉施設等における保育技術の展開について考察できた。	児童福祉施設等における保育技術の展開について多少は考察できた。	児童福祉施設等における保育技術の展開について考察できなかった。
主体的に取り組む態度(どのように関わるか)	施設実習による総合的な学びを、記録で十分に表すことができた。	施設実習による総合的な学びを、記録で概ね表すことができた。	施設実習による総合的な学びを、記録で表すことができた。	施設実習による総合的な学びを、記録で多少表すことができた。	施設実習による総合的な学びを、記録で表すことができなかった。
パフォーマンス(知識、スキルを使いこなす活用、応用)	施設実習において自己評価と課題の明確化に積極的に取り組むことができた。	施設実習において自己評価と課題の明確化に概ね取り組むことができた。	施設実習において自己評価と課題の明確化に取り組むことができた。	施設実習において自己評価と課題の明確化に多少は取り組むことができた。	施設実習において自己評価と課題の明確化に積極的に取り組むことができなかった。

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	保育実習指導 (科目ナンバリング: CHS123098)				
授業担当者(所属・職名)	湯浅 頼佳 (社会福祉学科・専任講師)	研究室等所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 湯浅 頼佳)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド 第二版』	石橋裕子・林幸範	同文書院	2018	9784810314755	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『実習の手引き』					
2	『学内テキスト』					
3						
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション及びシラバスの説明 授業改善アンケート結果反映の説明	「保育実習」の報告書や日誌などを再読する(4.5分)	シラバスの確認をする。「保育実習」での課題を明確にする(4.5分)
2	事前指導 保育実習 のふりかえり	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
3	事前指導 保育実習 の目的・内容・方法	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
4	事前指導 実習課題の設定	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
5	事前指導 援助計画の立案について	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
6	保育実習による総合的な学び(1)子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
7	保育実習による総合的な学び(2)子どもの保育と保護者支援	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
8	保育実践力の育成(1)子どもの状態に応じた適切なかわり	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
9	保育実践力の育成(2)保育の表現技術を生かした保育実践	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
10	計画と観察、記録、自己評価(1)保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
11	計画と観察、記録、自己評価(2)保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(4.5分)
12	事後指導 児童福祉施設等における保育士の職務	前回の授業で出された課題について予習する(4.5分)	課題についての復習を含め報告会の資料を作成する(4.5分)
13	事後指導 実習報告会の実施	報告会のシミュレーションをしておく(4.5分)	報告会について考察する(4.5分)
14	事後指導 実習評価と自己覚知	自己評価表を作成する(4.5分)	実習評価と自己評価について考察する(4.5分)
15	事後指導 実習の総括	「保育実習」のまとめを行う(4.5分)	「保育実習」について考察する(4.5分)
16	保育実習のまとめとふりかえり 授業改善アンケートの実施	「保育実習」をまとめる(4.5分)	「保育実習」についてふりかえりをする(4.5分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	課程必修
科目名称	教育実習（事前・事後）（科目ナンバリング：EDU143165，EDU243113，EDU343107，E，DU443109，EDU543118）				
授業担当者（所属・職名）	荒木 広式（社会福祉学科・特任教授）、渡部 齋（社会福祉学科・教		研究室等所在	2号館7階	
単位数	1（単位認定責任者：渡部 齋）	CAP制	×		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	各教員の研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標	（事前指導）教育実習生として必要な資質を理解し、教師として基礎的な知識や技能の修得することができる。（事後指導）教育実習の終了後、自らの教育実習を反省し、課題等を確認し、教師として今後の展望を見いだす。												
授業の位置づけ	社会福祉学科のDP（4）（5）に対応する。 経営学科のDP（4）に対応する。 デザイン学科のDP（4）」に対応する。 建築学科のDP（4）」に対応する。												
到達目標	「教育実習」の目的・意義を理解し、生徒の実態や教科の目標・特性に応じた学習指導案を作成することができる。												
授業全体の内容と概要	「教育実習」の目的・意義を具体的に理解し、生徒の実態や教科の目標・特性に応じた学習指導案を模擬授業をとおして作成することができる。また、「教育実習」の自覚と責任を高め、社会人・教師としての知識・技能・態度目標を意欲的に培うことができる。「SDG4・質の高い教育をみんなに」の関連科目。												
授業の方法	授業形態は講義形式であるが、板書の他に視聴覚メディア等を利用する。テキスト及び配布資料等を中心に講義を行う。また、後期には実践的な模擬授業が始まるので、教材研究・プリント作成・板書計画など関連する項目において、意欲的な態度で臨むこと。なお、模擬授業終了後はコメントにてフィードバックする。												
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他（授業の方法参照）</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他（授業の方法参照）
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL										
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業										
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他（授業の方法参照）										
履修上の注意事項	出席状況、受講態度の点で適格性を欠いていると判断された学生は、以後受講できなくなる場合があるので、真剣な取り組みを要する。												

修学サポート（合理的配慮）	事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員（大学）が同意のもと修学サポートする。
資格指定科目	教職課程（全教科）必修科目

評価方法・基準

評価前提条件	<ul style="list-style-type: none"> 無断欠席は、大きく減点される。学生の立場ではなく、教員としての立場が求められる。 教育実習（事前・事後指導）の単位認定は、4年の後期に行われる。 					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	20%	30%	0%	20%	30%

ルーブリック	評価基準				
評価項目	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・理解	・レポート課題において、9割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、8割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、7割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができなかった。
関心・意欲・態度	右の記述を高いレベルで実現することができた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究がしっかりできていた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていなかった。
思考力・判断力・表現力	右の記述を高いレベルで実現することができた。	実践的な模擬授業において、より詳細な教材研究がなされ、授業として成立していた。	実践的な模擬授業において、詳細な教材研究がなされ、授業として成立していた。	実践的な模擬授業において、教材研究がなされ、授業として成立していた。	実践的な模擬授業において、教材研究がなされず、授業として成立していなかった。

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	課程必修
科目名称	教育実習（事前・事後）（科目ナンバリング：EDU143165，EDU243113，EDU343107，E DU443109，EDU543118）				
授業担当者（所属・職名）	荒木 広式（社会福祉学科・特任教授） 、渡部 斎（社会福祉学科・教	研究室等所在	2号館7階		
単位数	1（単位認定責任者：渡部 斎）	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『新編 教育実習の常識』	教育実習を考える会編	蒼丘書林	2000	9784915442117	
2	『教育実習完璧ガイド』	宮崎猛編	小学館	2015	9784091050151	
3	『教育実習の手引（第7版）』	北海道私立大学教職課程研究連絡協議会編	学術図書出版社	2019	9784780607772	
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	前期オリエンテーション（シラバスの説明を含む） 、教育実習の目的と意義 前年度の授業改善アンケート結果反映の説明	事前にシラバスを読んでいること。（45分）	今回の授業内容を復習しておくこと。（45分）
2	挨拶の実際1、教育実習の準備と心得	事前にテキストの範囲を読んでいること。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
3	挨拶の実際2、実習校での禁止事項等	事前にテキストの範囲を読んでいること。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
4	自己紹介の実際1、受け入れ学校の声	事前にテキストの範囲を読んでいること。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
5	自己紹介の実際2、	事前にテキストの範囲を読んでいること。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
6	自己紹介の実際3、	事前にテキストの範囲を読んでいること。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
7	板書計画	事前にテキストの範囲を読んでいること。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
8	学級指導の実際1	事前にテキストの範囲を読んでいること。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
9	学級指導の実際2	事前にテキストの範囲を読んでいること。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
10	学級指導の実際3	事前にテキストの範囲を読んでいること。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
11	教育実習における授業の実際（VTRから学ぶ）	事前にテキストの範囲を読んでいること。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
12	学習指導案の作成（基本）	事前にテキストの範囲を読んでいること。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
13	教科別模擬授業（導入の実際）1	事前にテキストの範囲を読んでいること。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
14	教科別模擬授業（導入の実際）2	事前にテキストの範囲を読んでいること。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
15	教科別模擬授業（導入の実際）3	事前にテキストの範囲を読んでいること。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
16	まとめ、課題（レポート・学習指導案など）の解説	まとめの準備をしておくこと。（45分）	まとめの整理をしておくこと。（45分）

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『中学校学習指導要領解説 各教科編（最新版）』					
2	『高等学校学習指導要領解説 各教科編（最新版）』					
3						
4						
5						

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17	後期オリエンテーション（シラバスの説明を含む） 、模擬授業の日程について	事前にシラバスを読んでいること。（45分）	今回の授業内容を復習しておくこと。（45分）
18	模擬授業の見学（4年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
19	模擬授業の見学（4年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
20	模擬授業の見学（4年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
21	学習指導案の作成	教材研究の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
22	学習指導案の作成	教材研究の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
23	学習指導案の作成	教材研究の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
24	プリント・板書計画の作成	事前にテキストの範囲を読んでいること。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
25	プリント・板書計画の作成	事前にテキストの範囲を読んでいること。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
26	模擬授業の見学（3年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
27	模擬授業の見学（3年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
28	模擬授業の見学（3年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
29	模擬授業の見学（3年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
30	模擬授業の実施	模擬授業の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
31	教育実習体験発表（4年）	教育実習体験発表を聞く準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
32	まとめ、課題（レポート・学習指導案など）の解説 授業改善アンケートの実施	まとめの準備をしておくこと。（45分）	まとめの整理をしておくこと。（45分）

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	課程必修
科目名称	教育実習（事前・事後）（科目ナンバリング：EDU143165，EDU243113，EDU343107，E，DU443109，EDU543118）				
授業担当者（所属・職名）	荒木 広式（社会福祉学科・特任教授）、渡部 齋（社会福祉学科・教		研究室等所在	2号館7階	
単位数	1	（単位認定責任者：渡部 齋）	CAP制	×	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				
オフィスアワー	各教員研究室前の掲示ボード等を参照				

概要

履修目標	（事前指導）教育実習生として必要な資質を理解し、教師として基礎的な知識や技能の修得することができる。（事後指導）教育実習の終了後、自らの教育実習を反省し、課題等を確認し、教師として今後の展望を見いだす。
授業の位置づけ	社会福祉学科のDP（4）（5）に対応する。 経営学科のDP（4）に対応する。 デザイン学科のDP（4）」に対応する。 建築学科のDP（4）」に対応する。

到達目標	教育実習の終了後、自らの教育実習を反省し、課題等を確認し、教師として今後の展望を見いだすことができる。
------	---

授業全体の内容と概要	「教育実習」の目的・意義を具体的に理解し、生徒の実態や教科の目標・特性に応じた学習指導案を模擬授業をととして作成することができる。また、「教育実習」の自覚と責任を高め、社会人・教師としての知識・技能・態度目標を意欲的に培うことができる。「SDG4・質の高い教育をみんなに」の関連科目。
------------	--

授業の方法	授業形態は講義形式であるが、板書の他に視聴覚メディア等を利用する。前期は実習前なので実践的な模擬授業が中心である。後期は3年の模擬授業を見学し、教育実習の反省点や課題を見つけると共に3年の教育指導も行う。なお、模擬授業終了後にはコメントにてフィードバックする。
-------	--

アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他（授業の方法参照）</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他（授業の方法参照）
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL										
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業										
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他（授業の方法参照）										

履修上の注意事項	出席状況、受講態度の点で適格性を欠いていると判断された学生は、以後受講できなくなる場合があるので、真剣な取り組みを要する。
----------	---

修学サポート（合理的配慮）	事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員（大学）が同意のもと修学サポートする。
---------------	---

資格指定科目	教職課程（全教科）必修科目
--------	---------------

評価方法・基準

評価前提条件	・無断欠席は、大きく減点される。学生の立場ではなく、教員としての立場が求められる。 ・教育実習（事前・事後指導）の単位認定は、4年の後期に行われる。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	20%	30%	0%	20%	30%

ルーブリック	評価基準				
評価項目	履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・理解	・レポート課題において、9割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、8割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、7割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができなかった。
関心・意欲・態度	右の記述を高いレベルで実現できた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究がしっかりできていた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていた。	教科書読解・資料作成・板書計画などの教材研究ができていなかった。
思考力・判断力・表現力	右の記述を高いレベルで実現できた。	実践的な模擬授業において、より詳細な教材研究がなされ、授業として成立していた。	実践的な模擬授業において、詳細な教材研究がなされ、授業として成立していた。	実践的な模擬授業において、教材研究がなされ、授業として成立していた。	実践的な模擬授業において、教材研究がなされず、授業として成立していなかった。

基本情報

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当	全学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	課程必修
科目名称	教育実習（事前・事後）（科目ナンバリング：EDU143165，EDU243113，EDU343107，E DU443109，EDU543118）				
授業担当者（所属・職名）	荒木 広式（社会福祉学科・特任教授） 、渡部 斎（社会福祉学科・教		研究室等所在	2号館7階	
単位数	1（単位認定責任者：渡部 斎）	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『新編 教育実習の常識』	教育実習を考える会編	蒼丘書林	2000	9784915442117	
2	『教育実習完璧ガイド』	宮崎猛編	小学館	2015	9784091050151	
3	『教育実習の手引（第7版）』	北海道私立大学教職課程研究連絡協議会編	学術図書出版社	2019	9784780607772	
4						
5						

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	前期オリエンテーション（シラバスの説明を含む） 、模擬授業の日程など 前年度の授業アンケート結果反映の説明	事前にシラバスを読んでいること。（45分）	今回の授業内容を復習しておくこと。（45分）
2	模擬授業の見学（4年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
3	模擬授業の見学（4年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
4	模擬授業の見学（4年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
5	模擬授業の見学（4年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
6	模擬授業の見学（4年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
7	模擬授業の実施	模擬授業の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
8	模擬授業の見学（4年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
9	模擬授業の見学（4年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
10	模擬授業の実施	模擬授業の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
11	模擬授業の見学（4年）	模擬授業の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
12	模擬授業の見学（4年）	模擬授業の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
13	模擬授業の見学（4年）	模擬授業の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
14	模擬授業の見学（4年）	模擬授業の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
15	模擬授業の見学（4年）	模擬授業の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
16	まとめ、課題（レポート・学習指導案など）の解説	まとめの準備をしておくこと。（45分）	まとめの整理をしておくこと。（45分）

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『中学校学習指導要領解説 各教科編（最新版）』					
2	『高等学校学習指導要領解説 各教科編（最新版）』					
3						
4						
5						

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17	後期オリエンテーション（シラバスの説明を含む） 、模擬授業の日程について	事前にシラバスを読んでいること。（45分）	今回の授業内容を復習しておくこと。（45分）
18	模擬授業の見学（4年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
19	模擬授業の見学（4年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
20	模擬授業の見学（4年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
21	模擬授業の実施	模擬授業の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
22	模擬授業の見学（3年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
23	模擬授業の見学（3年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
24	模擬授業の見学（3年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
25	模擬授業の見学（3年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
26	模擬授業の見学（3年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
27	模擬授業の見学（3年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
28	模擬授業の見学（3年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
29	模擬授業の見学（3年）	模擬授業見学の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
30	教育実習体験発表（4年）	教育実習体験発表を聞く準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
31	教育実習体験発表（4年）	教育実習体験発表を聞く準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）
32	教育実習後の反省と課題について 授業改善アンケートの実施	教育実習後の反省と課題の準備をしておくこと。（45分）	今回の授業内容をまとめておくこと。（45分）